

信州大学医学部附属病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2017年5月25日

「膵胆管合流異常症における胆嚢および胆管の臨床病理学的、分子生物学的検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	537
研究課題名	膵胆管合流異常症における胆嚢および胆管の臨床病理学的、分子生物学的検討
所属(診療科等)	病態解析診断学
研究責任者(職名)	上原剛(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年12月31日
研究の意義、目的	胆管合流異常の発癌性を明らかにすることを目的とした研究で、癌予防に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2001年4月1日から2015年10月31日の期間に当院で膵胆管合流異常症について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／血液、組織など
他機関への試料・情報の提供方法	パラフィンブロック検体は郵送、患者情報は電子的配信により提供を受けます。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、膵胆管合流異常組織所見と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	Emory 大学(アメリカ合衆国)(責任者:Nazmi Adsay)、飯田市立病院(責任者:堀米直人、岡庭信司)、佐久総合病院(責任者:比佐岳史)、長野市民病院(責任者:長谷部修)、信州大学(責任者:上原剛)
研究代表者	主任施設の名称:Emory 大学 研究責任者:Nazmi Adsay
問い合わせ先	氏名(所属・職名):上原剛(病態解析診断学・准教授) 電話:0263-37-2805

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である Emory 大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。